

～ 笑顔 の 秋 ～

副校長 藤原 英二

虫の声が夜空に響き、秋を感じる季節となりました。秋といえば「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」など様々な秋が思い浮かびます。皆様は、どのような秋を過ごしたいとお考えでしょうか。

2学期は、児童・生徒たちが多くの体験を通して成長する時期です。高等部では、今月8日、作業学習で運営しています「レインボーカフェ」が営業しました。企業の方や本校卒業生など様々な方の来店がありました。（1学期は保護者の方々にも多数来店いただきました）お客様をお迎えし、心を込めて接客する経験は、社会とのつながりを実感する貴重な学びの機会となります。お客様からいただく「ありがとう」の言葉や温かな笑顔は、生徒たちの励みとなり、働く喜びを実感することにつながります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。（営業日はホームページを御覧ください）

また、高等部1年生では、「NPO法人がんノート」から講師の方をお招きし、がん教育を実施し、がんの知識や予防の方法を学びました。その中で講師の方から御自身の闘病経験を通して、生きることの大切さや前向きに過ごすことの尊さについての話がありました。お話の中で紹介された「幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せとなる」という言葉が、とても印象的でした。生徒たちの心にも深く残ったようです。毎日の生活の中では、うまくいくこともあればそうではないこともあります。それでも、笑顔を絶やさず、人とのつながりを大切にしながら、前向きな気持ちで過ごすことで、幸せは、自分自身だけでなく周りへと広がっていきます。

この秋が、児童・生徒たち一人一人にとって「できた」「わかった」「楽しかった」がたくさん詰まった笑顔あふれる季節となることを願っています。また、児童・生徒たちの成長を支える教育活動の充実に努めてまいります。引き続き、御理解と御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



デジタル技術の活用について

I C T部担当主幹教諭 船橋 学

本校では、児童・生徒一人一人の学びをより充実させるとともに、教職員の指導力向上や学校運営の効率化を図るため、「デジタル技術活用推進プロジェクト」に取り組んでいます。

本プロジェクトでは、ICT機器や生成AIなどの新しいデジタル技術について教職員が研修を行い、授業づくりや教育活動に効果的に活用する方法を学んでいます。また、教職員の業務改善を進めることで、児童・生徒と向き合う時間の充実につなげていきます。

取組を進めるに当たっては、教育効果を重視するとともに、情報セキュリティや個人情報の保護を徹底し、安全で適切な活用努めています。

今後も、デジタル技術を効果的に活用しながら、子供たちの学びの充実とよりよい学校づくりを進めていきます。